NPO法人
邦楽指導者ネットワーク21
URL http://www.npo-hougaku.or.jp/index.html
令和３年１月１日　　新年号

たより第36号

西角井 正大

民俗芸能研究家、昭和7年生まれ、昭和38年文部省文化財保護委員会無形文化課文部技官、国立劇場芸能部制作室演出室主査、日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長、日本大学芸術学研究科非常勤講師、実践女子大学文学部教授、平成15年(特非)邦楽指導者ネットワーク２１副代表理事就任

新年のごあいさつ

副代表理事　西角井 正大

コロナ禍ながらお変わりなく新年をお迎えと存じますが、お見舞い申し上げます。

昨暮にホームページがリニューアルされました。きれいで見やすい画面にデザインされました。BGM ぐらい欲しいところですが、HP の常として音無しです。しかし、色々な会と会員の活動写真が載っていますので、当該する方はユーチューブやフェイスブックを活用してみてください。もちろん映像も音も一緒に流れます。

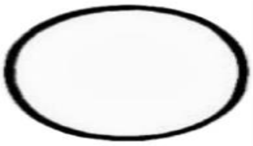
新 HP では 2019 年 6 月の創立 15 周年記念「夢・未来コンサート」のライブをユーチューブで配信していますので、DVD をお持ちの方もご覧ください。今はオンライン流行りですから、改めてオンライン・コンサートや教室もいいと思います。なお、HP とは別に Web のブログもご覧ください。

昨年はどこもかしこもどうなるか、どうするかと暗中模索だったと思います。でも、年を越して何もしないわけにはいかないと、沈静化を祈っていますが、ウィズ コロナで取り組む心のようです。当 NPO もオンラインで活動を活発化させて乗り切りたいと思います。

楽習塾（がくしゅうじゅく）塾長　平井幸雄　　ext ヒライ信１月号より

十牛図（じゅうぎゅうず）

どんな人にも能力や実力が備わっているが、迷い苦しんで真価を発揮できずにいる。中国北宋時代の臨済宗楊岐派の禅僧・廓庵（かくあん）禅師は牧牛によって、悟りにいたる１０の段階を１０枚の図と詩で表した。「真の自己」を牛の姿、それを探す牧童で表されているため、十牛図（じゅうぎゅうず）という。「ヒライ信」の制作過程をこれになぞってみた。

1	2	3	4	5
尋牛（じんぎゅう）	見跡（けんせき）	見牛（けんぎゅう）	得牛（とくぎゅう）	牧牛（ぼくぎゅう）
牛を捜そうと志す。探すがどこにいるかわからず途方にくれた姿を表す	牛の足跡を見つけます。この足跡というのは、自分を知る手がかりのようなものです。	牛の足跡を追ううちに、ついに牛を見つけました。	ついに牛との戦いです。それは己との戦いでもあります。牛が逃げないよう綱でつなぎ留めます。	牛をてなずけること。悟りを自分のものにするための修行をします
わたしは毎回、ヒライ信のテーマ（アイデア）を探します。毎回途方に暮れています。	人の話や作品を見聞します。ネットを検索しアイデアを見つけます。	〆切前に、最初の壁もしくは修羅場にぶち当たります。	苦しんで、悩んで、ヒントを発見します。それを逃さないようつなぎ留めます。	できるはずと自信を持ちます。しっかり手綱を引き締めパソコンに向かいます。
6	7	8	9	１０
騎牛帰家（きぎゅうきか）	忘牛存人（ぼうぎゅうそんにん）	人牛倶忘（じんぎゅうくぼう）	返本還源（へんぽんかんげん）	入鄽垂手（にってんすいしゅ）
				
牛の背に乗り家へむかいます。悟りがようやく得られて世間に戻る姿です。	牛と自分が一体化し悟りを開くことで、牛の姿が消えてしまいます。	「空」の境地に到達します。悟りを開いたことすら忘れろと示唆しています。	迷いを乗り越え、悟りの境地に至り、悟ってしまえば悟る前と同じという禅の世界を	町へ降りて人に接し、衆生に救いの手を差し出します。
パソコンに向かい続けていると、次々に、楽々と新しいアイデアが出てきます。	頭の中の考えとパソコンが一体化。ヒライ信のイメージが具体化します。正に悟りが開いたかお！	自分のこだわりや、迷いから脱却し、空間にサロン仲間、読者と向き合えるようになります。	一晩寝かします。果報は寝て待て。夢の中で再読し、一回り大きなヒライ信になるのです。	ヒライ信が完成し、印刷・メール発信します。皆さんの笑顔を想像します。皆さんのお蔭と感謝します。

常識講座・後編の４

作曲・編曲家・尺八演奏家　　宮田耕八朗

　さて地歌は花鳥風月やその他さまざまです。が、今は遊女と江戸の文化の話。
吾妻獅子は東(あづま)下りの色男在原業平(ありわらのなりひら)を真似て江戸へ行き吉原で遊んだ話です。言うまでもなく業平(825～880)の頃は江戸の街も吉原もありませんが、「華やかに乱れ乱れる妹背の道も」なんて、オイオイ人前でそんな声出すな！　と言いたくなるような歌ですし。地歌では無いけど五段砧は箏二重奏の名曲で、あの時代の通例で地歌っぽく前歌がついています。
　でも実は殆ど省略し箏二重奏だけで演奏されますが、その歌詞は当時評判の遊女、吉野、高尾、外山、常盤の名を巧みに歌い込んでいます。
　今で言うアイドルなんでしょうかねぇ。
　如何に華やかな花魁でも囲いから出ることは許されない売春婦ですし、最下層の泥水啜って生きている遊女も、野垂れ死ぬまでその境遇から這い上がることは夢のまた夢。
　その悲惨な女たちと、それを買いに行く男たちが芝居にも地歌にも多くの部分を占めている江戸の文化とは何なのでしょう？　そして今も上演され演奏されているということは女性をどう思っているのでしょう？
　女性を蔑視していたことは確かです。今でも「おんなのくせに」「女子供のでる幕では…」いやもっと凄いのは軟弱な又は陰険な男に対して「女の腐ったような」という言葉を女性でもつい口にするということは女性蔑視が男女ともに身についている証なのです。
「元始、女は太陽であった」(平塚らいてう)というのに奴隷制封建制以来、女性蔑視は世界中に普及し、そして20世紀から21世紀にかけて世界的に意識の変革が進んできたのですが、男女平等ランキング2020で世界の153か国中なんと日本は121位ですって。まだ下に32か国あるあるぞ！　なんて威張れませんよ。
世界中に数え切れない理解できない差別がまだまだありますが、今はそこには突っ込まないで、江戸の文化と現代に繋がる女性に対する意識について考えてみました。次回は話題を変えます。

コロナ下での音楽活動～YouTubeでの動画配信のススメ～

作曲家　常務理事　福嶋頼秀

　コロナ下でみなさんが力を入れ始めたのが動画配信。実はそんなにハードルが高くなく、興味があれば誰でもトライできますので、紹介しましょう！
【スマホで撮るのが簡単】
動画作成で一番簡単なのは、スマホやタブレット端末のカメラで録画するやり方です。音質や画質には限界がありますが、演奏や指導の様子などを撮影し、みなさんにその内容を知ってもらうのであれば十分です。動画はYouTubeに「自分のアカウント」を作って、そこから配信します。ネットで検索するとやり方がたくさん紹介されていますが、特別な条件も必要ありません。
【「限定公開」も便利】
動画の配信方法には「限定公開」というやり方があります。これは文字通り「一部の人だけに限定して」動画を見てもらうやり方です。これを活用すると、例えば「練習の様子を撮影して、後で関係者だけで何度も見る」といった事もでき、とても便利です。
【音楽や画像にこだわるなら】
クオリティの高いものを目指すのであれば、専用の録音機材や撮影機材を用い、編集にも時間を掛ける必要があります。一例ですが、９月に開催された日本音楽集団のキッズコンサート『音楽と絵本』の模様が、東京都の「アートにエールを！」というサイトで公開されています。私が構成・作曲・編曲したコンサートですが、動画制作にもこだわりました。ご覧頂くとわかるのですが、歌手や奏者のアップの映像なども多用されています。これは主に公演前日に撮影したものを、本番の映像と組み合わせています。
【編曲許諾にもご注意を】
気をつけなければいけない点に、「編曲許諾」があります。著作権が生きている作曲家の作品を新たに編曲する時は、「編曲してよいかどうかの許諾が必要」なのです。私が編曲と録音を担当した『和楽・紅蓮華』という動画も、もちろんレコード会社の編曲許諾を得ています。手間も掛かりましたが、約１ヶ月で２００万回再生を越えるヒット作となりました。

笑いのネットワーク・笑涯楽習

楽習塾　平井幸雄（ひらい　たかお）

サラリーマンを定年退職して、第二の人生のテーマを「笑い」と決めた。そして、笑い、笑われながら「笑いのネットワーク」を広げ、生涯学習ならぬ「笑涯楽習」していきたいと思っている。

●落語への挑戦

　実は、わたしは人前で話すことが大の苦手だった。それを克服しようと、当時２０代のころ社内に発足した「落語研究同好会」(通称・落研【おちけん】に参加した。建久亭馬家(けんきゅうていうまや)の芸名を名乗り、人前で「落語」を演じた。おかげで、本名「**ひらいたかお**」の「おかたい平いたかお」は人気者（？）になり、平凡で平板な「平板顔(ひらいたかお)」を大きく変身させてくれた。社内外の多くの方々との交流が広がり「拓いた顔(ひらいたかお)」、未来が開けた「開いた顔(ひらいたかお)」にもなった。「落語」をやったおかげで、人前で話すことが楽しくなった。定年退職後は、ＮＰＯ法人シニア大樂講師紹介センターに講師登録した。そこで「ユーモアスピーチの会」と、プロの噺家・三遊亭圓王師匠の主宰する「三遊会」に出会う。さらには「日立寄席」の常連にもなり、本格的に落語を演ずることになる。あちこちから講演や落語の高座の依頼が来るようになった。落語のネタも４０席を超えた。

日本の伝統話芸「落語」は奥が深い。聴いているだけでも学ぶことが多いが、演ずるとなると、噺を覚えることと、噺の中に出てくる言葉への探究心などで頭脳がフル回転し、ぼける暇がない。演ずることで大きな声を出し、仕草もあり、体を使い、汗もびっしょりになって心身を鍛える。噺のマクラ、間、オチなど学ぶこといっぱいである。やればやるほど新しい挑戦テーマが生まれる。老いている暇が無い。落語は笑っていただける皆様からもパワーをいただける。

●ジョーク・ユーモアへの挑戦

　４９歳のとき、異業種交流の場「ジョークサロン」と出会った。ビジネスマンやＯＬが月に一度集い、それぞれが作ってきたジョークやユーモアを披露するサロンである。わたしも落語や駄洒落の発想で創作したジョーク作品をほぼ毎月、Ａ４サイズ・１枚（両面）にして送り届けた。平井の通信で、勝手に飛来させるので、洒落て「**ヒライ信**」と名づけた。途中ネタ切れにもなりかけたが、読んでくれる方が待っていると思うと止められない。読んでコメントをくれた方々のおかげだと感謝している。「継続は力なり」というが、まさにそれを実感した思いである。ジョークの創作が頭の活性化になっているが、何よりも人とのコミュニケーションの大きなツールになっている。こちらから発信することにより、相手から多くの情報や知恵をいただける。いまや情報化の時代でどこからも情報は得られるが、真の有効な情報は面と向かった双方向のコミュニケーションであると思う。

●いろは 48 文字の一文字ずつを使い丑年の牛を寿ぐ **（最新の「ヒライ信」第 257 号より）**

うしにひかれて
どこまいる
のろり　あゆみは
おそくも　ふえぬ
ね(寝)　やすめ
ほんをよむ
ちゑ(知恵)だせ
わらゐ(笑い)
さきへ　つなげ

“歌「今日の日はさようなら」歌碑建立”

門傳良男

門傳良男プロフイール

1945.満州吉林省に生まれる

1969 立正大学卒業

1971 尺八をはじめる

1976 都山流師範

2007.6.15.NPO 法人邦楽指導者ネットワーク２１理事就任

2007 年度文化庁伝統文化調布市こども箏尺八教室を主催

現在に至る

え？この歌が調布で？この歌を知る殆んどの方がそう言って驚きます。

実はこのモニュメントは全くの偶然から立ち上がりました。２０１４年の３月にあるイベントが前日の大雪（調布でも３０cm）のため、その中止伝達のために仙川駅に行き、歩いて調布駅に戻る途中「思い出のアルバム」の歌碑がつつじヶ丘にあるから見ていこう。これがそもそもの始まりでした。思い出のアルバムの碑を見た時に、「今日の日はさようなら」がその昔調布で活動していたハーモニイサークル（現公益財団法人ハーモニイセンター）の活動の拠点がつつじヶ丘児童館にあり、活動の終わりに歌を歌って解散していたけど、オリジナルが欲しいということになり、若者にギターを指導していた金子詔一さんが作詞作曲したことを思い出し、これの歌碑も建てようと３人の意見が纏りました。其れからは若気の至り？で一直線。７月には市長、副議長も出席し歌碑建立委員会発会式を発足。歌誕生当時のハーモニイサークル代表の大野さんや金子詔一さんとも面会しました。みんなで建てようと募金活動を展開したところ、金子さんから歌が生まれて６０年も経た今、歌での募金は止めてほしい、ただし歌が生まれたムーブメントは伝えてください。とのコメントに、即募金活動は止め、歌誕生のムーブメントを伝える方法を探りました。「今日の日はさようなら」は「親子で歌い継ぐ日本の歌百選」に選ばれていることから「親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会」を立上げ、歌う会でムーブメントを伝え続けながら建立を目指しました。建立に当たっては地元の造園業を営む方から欅を一本切ってやるよ。樹だけでなく作業場、埋設工事まで援助いただき、２０１８年１１月に歌誕生の地の児童館に完成しました。２０２０年２月にはＢＳ朝日の「子供に残したい美しい日本の歌」での紹介等もあり、文化の町調布に細やかながら貢献出来たかなと思いつつ、更なる伝道を続けるこの頃です。

今日の日はさようなら

へいつまでも…世代超え

調布で誕生「歌碑」活動も

東京の記憶

今日の日はさようなら歌碑建立委員会　親子で歌継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会代表　門傳良男

令和2年度文化庁「伝統文化親子教室」

箏曲さくらの会 鎌澤さくら

初めて親子教室に挑戦することになりました。親子2～3組ほどに分かれシフトを組んでお稽古をしています。学校によって土曜授業の週も異なり、参加者の方々と予定を調整しながら進めています。場所は稲城市内の公民館や自宅で、換気や手洗いの声をかけ、対策をしています。１コマあたり30分程度と短時間ではありますが、少人数の分、子どもたちと会話を楽しんだり、出来るだけそれぞれのペースにあったお稽古ができるよう努めています。開催にあたり様々な準備やお稽古の進め方など、先輩方からアドバイス頂き、無事に活動が始められました。現在は１月末の発表会にむけて「紅蓮華」や「パプリカ」などを練習しています。精一杯がんばります！

下関箏友会　佐藤眞由美

全く発表の場がなかった令和2年・・・!せめて気持ちの区切りをつかせたいと思い、今年最後のお稽古にご父兄の方のみ聴いて頂ける発表会を開催しました。曲は紅蓮華だけ。あとは練習中の曲をお稽古して終了(^o^)最後にアンケートも答えて頂きました。子ども達は、弾けるようになったら達成感がある!もっといろんな曲を弾きたい!ご父兄からはお稽古に行くのが楽しみだと言っています。うれしい言葉を頂きました。来年はステージに出たい!みんなの言葉です(^o^)

理音会　高橋 理香

「加茂邦楽こども教室」は、年間をとおし30回ほど開催しており、今年度で16年目となりました。ただ、加茂市の人口は年々減少する一方で出生数も減り、こども教室への参加者も少なくなっているのが現状です。令和1年1月にはゲストを迎え、～加茂邦楽こども教室15周年記念～加茂新春コンサート～を開催し、400人を超える来場をいただき賑々しく終了することができました。けれども、その直後に新型コロナウィルスの感染拡大。3月～6月まで教室を休講、7月より個人レッスンで再開しています。11月～1月の間「箏親子体験教室」本年9月に「加茂市民芸能祭」令和3年1月の「加茂新春コンサート」への参加も予定しています。文化・芸術再始動の流れにのりながら、コロナ対策を徹底し、邦楽の継承発展が阻まれることのないよう、感染状況を注視しながら活動を継続してゆきたいと思っております。

箏曲あさの会　望月亜紗子

学校側から夏休みのお箏教室開催のOKを頂いてから、事業期間中ずっと、参加生徒や指導者がコロナや熱中症にならないか、東京都のアラートで開催が中止にならないかと、毎日不安との戦いでしたが無事にお箏教室を開催できました。密を避けるため、体育館の広いスペースで、二人一組での箏の使用はせず、1回14人×4クラスを10日間指導し、登校前の検温、マスク着用、手の除菌はもちろん、クラスの入替時に座席や箏の絃の除菌を徹底していきました。修了演奏会も生徒一人に付き保護者一人までと観客も制限しましたが、イベントがどんどん無くなる中での開催は非常に喜ばれました！！今年は達成感よりも、無事に終えた安堵感がはるかに強かったです。

祥の会　佐野 妙子

今年はコロナ禍での開催となりました。教室に入る前に手洗いを済ませ、更にアルコールミストで消毒してから琴爪を付けます。講師も同じ様にし、マスクを通して出す声は聞き取りにくくフェイスシールドにしました。室内の換気もしっかりしました。隣との間隔を琴一台分あけて並べて学習しました。四年生～六年生迄　２年目の生徒も参加しています。曲は　さくらさくら、富士山、ふるさと、を学習しました。２年目の生徒さんや高学年の希望で紅蓮華を学習しました。現在コミックやLisAさんの歌で大人気の曲は生徒達の心を揺さぶるものがある様でした。皆　楽しく得意になって学習しました。

調布三曲協会　柴田裕子

文化祭を開催するにあたり、8月から10月にかけて、コロナ感染防止対策を幾度となく検討しました。調布市の方針は、無観客での開催と、文化祭中に感染者が一人でも出たら、全ての催事を中止とする。と言うものでした。それでも、出演者やお子さんの晴れ舞台を一目観たい、と思うのがご家族やお弟子さんの気持ちだろうと考え、関係者のみ入場可能に致しました。コロナ禍にもかかわらず、子供たちはとても熱心に教室に通いましたし、会員も子供にあわせた工夫をしながら指導にあたりました。調布市文化・コミュニティ振興財団の多大な支援を受けながら、細心の注意を払っての開催でしたが、20名全員揃って素敵な「祭花」を演奏することが出来ました。その様子が、YouTubeで配信されています。

箏曲多摩の音会 渡辺泰子

9月に募集をしたにもかかわらず「伝統文化親子三味線教室」は32名の申し込みがありました。換気と消毒を徹底し、三密を避けて一回毎の練習を少人数制とすることは初めての試みですが、一日を数回に分けて指導することにして開講しました。今回は御両親の参加者も多く家庭的な雰囲気でとても明るい教室になりました。皆さん紅蓮華がお好きなので、やさしく弾ける三味線譜を作った所、ノリもよく大変盛り上がりました。三味線を始めたばかりの親子さんと一緒にLisaさんの歌のCDに合わせて合奏したり、親子教室は大変楽しいものとなりました。著作権協会からの承認も受け、家庭音楽会より無事出版することも出来ました。

コロナ禍での活動

邦友会琴音楽教室 石森康雄

琴を弾けることは幸せ!

ボランティアとして琴を指導しているが3月～8月までは活動自粛で休止状態が続いた。早く活動したいという声が多く、9月より活動を開始した。しかし練習条件が厳しい。手、椅子を練習前後には消毒、一面ごとに空間をとり、マスクをしたままで弾く事、換気の気遣いなど。休憩時間のお茶タイムはなし、飲み物は持参、何とも息苦しいことかと思いつつも活動を始めた。12月12日本年最後の練習日となり、修了後毎年のように出席者全員で集合写真を撮った。出来上がった写真を見て驚いた。というよりも異様な感じを受けた。25年近く続けているがこのような姿は初めてである。依然と同じ正常な練習状態になりたい。

箏曲都の音会　川端 都

小学校5年生を対象とした和楽器体験を実施しました。前半はおこと・三味線・尺八の説明と演奏、後半は子供たちが実際に和楽器を体験しました。演奏は八千代獅子、パプリカ、紅蓮華、聖夜です。伝統的な音楽だけでなく、子供たちのよく知っている曲を演奏したのでとても楽しそうに聞いてくれました。和楽器体験では、「さくら」をおことで練習するのを中心に尺八・三味線も体験しました。体験終了後の感想では「難しいと思っていたけど弾いてみたら楽しかった」「思っていたより弾くのに力が必要だった」「弦がナイロンでできているとは思わなかった」などイメージとは違う和楽器を発見できたようです。

目に見えないもの　ホサナ邦楽アンサンブル　田口 典子

皆さま　お元気ですか？
　今まで楽しんでやっていたことが、今年に入って急にやれなくなって不便ですね！国中の人、いや世界中の人の活動が制限されるなんて考えてもいませんでした。目に見えない何ミクロン（μ）かのコロナウィルスのため、世界中が活動休止状態です。でも、この時にしかできないこともあるかもしれないと思ったら、気持ちも少しは「楽」になるでしょうか？邦楽器で賛美歌を演奏したいと思いホサナ邦楽アンサンブルを作ったのは、35年前のことです。「光陰矢の如し」です。あと何年続けられるかわかりませんが、箏（琴）があって良かったと思う今日この頃です。今年は、一人でも弾ける賛美歌をつくったり、ねり直していく日々になるのカナ？

風間禅寿です！

皆様お体お変わりないでしょうか。僕はコロナ禍での演奏がかなり馴染んでまいりました。さて、今回皆様に紹介したいのは昨年11月末に開催されました「埼玉wabisabi大祭典2020」についてです。この企画はコロナ対策として生放送での開催となりました。舞台での演奏とは違い、映像で魅せる事がより重要になり、体全体を使った表現が一層深まりました。なんと、youtubeにてアーカイブをご覧いただけます。「埼玉わびさび箏男」で検索！今後もイベント情報などはNPOのブログや風間禅寿公式webページもしくはツイッターを是非ご

■ 新入会員ご紹介・・・加羅古呂庵　一泉（からころあん いっせん）　プロフィール

小学校の音楽の成績が悪く劣等感を抱く。18歳で尺八に出会い、五線譜でないことに安堵。音楽学の授業で世界には和声学を気にしない音楽がたくさんあることを知る。在宅勤務で時間に余裕ができ、曲を作り始める　**【自己紹介】**企業で企画づくりの仕事をした視点で見ると、邦楽の世界には不自然なことがいっぱい。演奏会に招かれたふつうの人は次から次へと食べたくないものが出てくる料理店のようで、邦楽に対する悪いイメージだけが残ります。作曲家に委嘱した新しい曲も、演奏者は満足するかもしれませんが、ホールの外には届きませんし、中級者には難しくて手が出ません。流行りの曲を編曲した楽譜が人気ですが、それは邦楽関係者も今の邦楽のコンテンツに満足していないから。アニメの編曲に魅力を感じて入門しても、指導者によってはその先が旧態依然では長続きしません。こんな不自然なことを30年、50年と続けていれば、邦楽が衰退するのは当たり前では？「日本の音楽っていいな」と思う世間一般の人々が増えて、その中から邦楽器を志す人が出てくるはずです。私も古曲や本曲、現代邦楽をやってきて、その価値を認めています。批判というよりも、自分にできることは何かと考えて、素朴な曲づくりを始めてみました。どうぞよろしくお願いいたします。

加羅古呂庵　一泉　　URL: http://www2a.biglobe.ne.jp/~village/

作品　里山の四季　谷戸山の森　仰ぎ見る天に　都筑の風　組曲 都筑風土記 第５番　山田富士の冬　組曲 都筑風土記 第４番
月出松の秋　組曲 都筑風土記 第３番　大塚・歳勝土の夏　　組曲 都筑風土記 第２番　古民家の春

※支援団体ご紹介　　いつもご支援誠にありがとうございます。

狛江支部 代表 渡辺泰子	調布支部 代表 石森康雄	熊本支部 代表 熊本お箏教室	山口支部 代表 佐藤眞由美	加茂支部 代表 高橋 理香	埼玉県 日本文化の会 戸塚順子
兵庫県 梛の会 鈴木晴梛	大阪府 箏糸会 今村慶子	東京都 平成尺八塾 高野義彦	静岡県 箏曲妙の会 佐野 妙子	愛知県 彩楓会 佐藤友相	福島県 桐音会 後藤礼子
山形県 彩音会 仲條京子	東京都 箏曲恭音会 坂本恭子	愛知県 箏曲明由の会 山本明由子	東京都 夢の会 田代せつ子	東京都 みなの会 原田眞樹子	東京都 箏曲あさの会 望月亜紗子
新潟県 箏曲翔の会 坂田翔祐	埼玉県 桐の会 仲林光子	神奈川県 箏曲都の音会 川端 都	東京都 箏曲かつの会 村田美果	東京都 三味線長唄 智の会	東京都 箏曲さくらの会 鎌澤さくら
東京都 箏曲樹の会 柴田裕子	神奈川県 加羅古呂庵　一泉 山本律山	(学)小牧幼稚園 園長 小林 牧江	宮城野楽器店 代表　白澤 功 ☎044-922-3439	山形屋琴三絃店 代表　日原 仁 ☎055-252-2110	(有)明鏡楽器 代表　渡辺 孃 ☎03-3623-6349
琴光堂和楽器店 代表　中島 昌之 ☎0266-52-2341	NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 〒107-0062 東京都港区南青山1-26-16-506 TEL&FAX　03-5771-8128				

㊗今年こそ素晴らしい年となりますように・・・。編集担当チーム:村田美果　下谷峰子 西山麻弥子 鎌澤さくら